

第2回学校運営協議会結果報告

1 会長挨拶

本年度、皆様が学校運営協議会委員としていろいろな行事に参加してきた目を通して、忌憚のないご意見をお願いします。

2 校長挨拶

児童像達成状況アンケート結果から『他人の話を聞くことができる』『友達の成功や良さを認められる』という良さを児童が感じていることが分かった。この結果を自己肯定感や自尊心の向上に繋げたいと考えている。その為の地域との連携を強化していきたい。

3 協議

(1) 小中一貫教育の取組と今後の展望

① 小中一貫教育グランドデザインについての説明（校長）

ア 学校教育目標は、南河内中学区4校で統一してある。

学校教育目標 ふるさとを愛し、夢に向かって高め合える子を育む
・進んで学ぼう ・心をみがこう ・体をきたえよう

イ 次年度、本校の目指す子ども像はグランドデザインにあるものである。

・自ら学んで互いに高め合える子・心豊かで助け合える子・健康で元気な子

ウ 推進体制…グランドデザイン内に書かれてる各部会で役割分担をし活動

例 管理職部会 ・各部会活動の運営管理、決裁・学校評価の検討
プロジェクト部会 ・グランドデザインの原案作成・教育課程の検討推進
推進部会 ・学習過程の確立 ・授業研究会交流の推進

エ 活動時間・機会の確保

・「小中一貫の日」として、年間に7回（放課後6回・夏季休業中1回）企画の立案や研修を進める。

・各部会毎に放課後に随時、集まる機会をつくる。

オ 今後の展望

・このグランドデザインをベースに、これから見直し・改善し、小中一貫教育の推進を図る。

質疑等

特になし

事務連絡（教頭）

1 1月行われるの義務教育学校建設に関するワークショップの参加を、各学年部の役員さんに呼びかけている。学校運営協議会からも2名参加していただける予定になっている。

(2) 学校地域協働活動に係る組織づくりに関して

① 地域の人材発掘・交流、児童生徒の地域活動参加など

ア 防犯協会からの学校表彰

課題 スクールガードとして登録いただいている方が現在6名。減りつつある現状にあると。

イ 中学生への、蔵王祭参加の呼びかけを実施。参加希望者複数名有り。

展望 夏休みの交流学習(中学生・保護者との)、読み語りボランティアの方による朗読の授業実施等を地域協働活動として考えている。

質疑等

委員A：いろいろな活動を増やしては、ますます忙しくなるのでは。授業をけずってまではできないので、交流活動をするには、夏休みしかないだろう。どんな活動があるのか、できるのか、学校側から教えていただきたい。

校長：・新しい行事や事業を入れるつもりはない。
・時期や要件・計画を見直しをして、より効率的・効果的な活動としたい。
・そのために、学校地域協働本部を立ち上げていきたい。
学校と地域を結ぶ役目のリーダーを決めることが必要である。
例えば 読書に関することだったら、塚原さん
田畑、作物に関することだったら、川井さん
環境整備だったら、齋藤さん 等 組織化を図りたい。
本校で組織体制の弱点として、防犯・学習支援の部分が挙げられる。この学校運営協議会を中心に地域へ発信し、組織化していきたい。
・地域の方がどんどん学校に入ってきていただいて、子どもと一緒に楽しんでほしい。

学校地域協働推進員：校長先生の話の中に、自己肯定感が低い児童が多いというのがあった。いろいろな活動の中で、地域の人から、家族からほめられる場が増えることによって、自己肯定感を高めることができるのではないだろうか。また、南河中の2年生の演説の中に、地域の人から学んでいるという内容のものがあった。地域とのふれ合いには、学ぶことが多い。

委員B：義務教育学校になったら、行事などはどうなるのか。残るのか、なくなるのか。

校長：一つになるので、なくなるものや残るものはあるだろう。精査していく必要がある。どんど焼きは、地域の文化としてぜひ残してほしい。

委員C：学校に任せるだけでなく、義務教育学校になる前に西校地区の人たちで、残しておきたい文化や行事を考えるべき。組織も必要だ。

委員D：声をかければ地域の人も集まってくるのでは。どんど焼きや下草刈りなど。

委員E：自分がPTA会長の時の蔵王祭が始まった。今とは少し目的は違うが。蟹川の行事も続く予定。

委員A：どんど焼きの中学生の参加は、いいと思う。
防犯については、下のような事案があるが可能か。
結城市の例：下校時に合わせて、放送を流し、地域の人に知らせている。

校長：結城市の例は初めて聞いた。難しいだろうが、確認してみたい。

委員F：朗読の話が出たが、授業に参加するとなると自分も勉強しなくてはと思う。

校長：自分の持ち味、特技、趣味などを生かしたお話で十分。大先輩から学べることはたくさんある。

(3) 次年度以降の教育課程編成に関して

① 学校行事の時期の見直し (H32年度以降の修学旅行、運動会など)

事務局提案 運動会の時期を秋から春にするを2年後の時期の見直しを目途に検討していきたい。

理由 ア 残暑厳しかったり、台風が接近したりして9月の練習が難しくなっている。

イ 義務教育学校開校を視野に入れ、中学校と同じ春にする。

ウ お彼岸の時期と重なる。

委員A：10月ではダメか。

校長：幼稚園の運動会とかぶってしまう。日程調整が難しい。

事務局：今後、保護者や地域に伝えていく予定である。

(4) その他

① 事務連絡 (教頭)

次回(第3回)会議予定 平成31年2月13日(水) 18:00～

内容…学校関係者評価(学校に関わる識者による評価)

※学校評価結果(内部評価)を事前配付する。